



2020年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年12月12日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク

上場取引所 東

コード番号 7614

URL <http://www.om2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 勤

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 澄川 新一

TEL 03 (5405) 9541

四半期報告書提出予定日 2019年12月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年1月期第3四半期の連結業績 (2019年2月1日～2019年10月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第3四半期	21,883	△2.0	655	△24.0	784	△13.7	508	△0.3
2019年1月期第3四半期	22,336	△2.2	861	△10.5	908	△29.6	509	△34.9

(注) 包括利益 2020年1月期第3四半期 469百万円 (△13.9%) 2019年1月期第3四半期 545百万円 (△33.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第3四半期	75.31	-
2019年1月期第3四半期	75.51	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年1月期第3四半期	16,387	13,110	80.0	1,941.99
2019年1月期	16,069	12,802	79.7	1,896.40

(参考) 自己資本 2020年1月期第3四半期 13,110百万円 2019年1月期 12,802百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期	-	0.00	-	24.00	24.00
2020年1月期	-	0.00	-	-	-
2020年1月期(予想)	-	-	-	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年1月期の連結業績予想 (2019年2月1日～2020年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,610	0.7	1,420	7.2	1,460	4.7	810	2.6	119.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年1月期3Q	7,335,634株	2019年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	2020年1月期3Q	584,453株	2019年1月期	584,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年1月期3Q	6,751,181株	2019年1月期3Q	6,751,181株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦問題による中国の景気減速など世界経済は不確実性を増しており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましては、依然として根強いお客様の節約・低価格志向に加え、牛肉等の原材料価格の高止まりや、労働力不足を背景とした人件費の上昇、物流費の増加や資材価格の高止まり、業種・業態を超えた競争の激化、更に消費税率引き上げ後の消費マインドの動向や相次ぐ自然災害の経済に与える影響に十分留意する必要があるなど、今後の動向は依然として不透明な状況が続いております。

このような中で当社グループは、売上高増大のための販売促進活動に全社一丸となって取り組むと共に、お客様満足度の向上や安心・安全な商品を提供できる体制強化、品質管理の徹底などの諸施策の実施に努めてまいりました。小売部門においては、新業態の店舗にも挑戦した他、継続的にイベント型の提案販売や、レイアウト再構築等の既存店活性化を実施し、また従業員の知識、技術向上による商品及び接客レベル改善を目指し、肉のマイスター制度をさらに浸透させてまいりました。外食事業にあってはステーキレストランチェーン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業において、メニューの考案や不採算店対策等、競争力向上のための施策を実施してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高218億83百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は6億55百万円（同24.0%減）、経常利益は7億84百万円（同13.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別利益34百万円の計上などにより5億8百万円（同0.3%減）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

「食肉等の小売業」

当第3四半期連結累計期間の開店は4店、閉店は惣菜店の精肉店への統合を含め15店であり、その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は143店になりました。内訳は食肉小売店125店（前期末比1店減少）、惣菜小売店18店（同10店減）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、その結果、売上高は157億16百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益は6億28百万円（同23.0%減）となりました。

「外食業」

当第3四半期連結累計期間の開店は1店、閉店は3店であり、その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は48店になりました。売上高につきまして、共同の大型出店した新店の牽引等により62億47百万円（前年同期比2.1%増）となりました。営業利益につきまして、売上増加要因はあるものの、設備投資に係る償却費の計上等もあり2億48百万円（同3.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	104億8百万円（前期末比+3.4%）
固定資産	59億78百万円（同△0.4%）
総資産	163億87百万円（同+2.0%）
流動負債	28億24百万円（同△0.0%）
固定負債	4億52百万円（同+2.5%）
純資産	131億10百万円（同+2.4%）
負債・純資産合計	163億87百万円（同+2.0%）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年1月期の連結業績予想につきましては、例年食肉等小売業における年末商戦等の業績に及ぼす影響が大きいことから、2019年3月13日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想を据え置きとしております。

今後、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,672,750	8,161,006
受取手形及び売掛金	339,911	304,094
テナント未収入金	1,323,544	1,206,726
商品及び製品	368,281	393,457
原材料及び貯蔵品	44,009	38,215
未収入金	203,979	194,940
その他	114,539	111,316
貸倒引当金	△2,571	△846
流動資産合計	10,064,444	10,408,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,698,737	3,663,536
減価償却累計額	△1,821,055	△1,871,114
建物及び構築物(純額)	1,877,681	1,792,422
機械装置及び運搬具	421,827	428,026
減価償却累計額	△273,551	△290,361
機械装置及び運搬具(純額)	148,275	137,664
土地	527,407	527,407
その他	1,791,311	1,870,166
減価償却累計額	△1,326,228	△1,401,765
その他(純額)	465,083	468,400
減損損失累計額	△513,531	△445,995
有形固定資産合計	2,504,917	2,479,898
無形固定資産		
無形固定資産	109,508	108,607
投資その他の資産		
投資有価証券	1,947,378	1,992,162
長期貸付金	67,031	59,012
退職給付に係る資産	122,038	118,768
繰延税金資産	130,660	148,890
敷金及び保証金	1,101,147	1,054,645
その他	36,300	30,601
貸倒引当金	△13,857	△13,857
投資その他の資産合計	3,390,698	3,390,223
固定資産合計	6,005,124	5,978,728
資産合計	16,069,569	16,387,640

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,659,870	1,725,262
未払金	321,248	344,006
未払法人税等	229,683	43,628
賞与引当金	70,538	190,065
その他	544,130	521,672
流動負債合計	2,825,471	2,824,636
固定負債		
退職給付に係る負債	36,545	40,723
役員退職慰労引当金	62,537	65,507
資産除去債務	266,064	264,126
その他	75,992	81,931
固定負債合計	441,140	452,288
負債合計	3,266,612	3,276,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,391,999	1,391,999
利益剰余金	11,363,360	11,709,783
自己株式	△576,698	△576,698
株主資本合計	12,645,360	12,991,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,153	99,148
退職給付に係る調整累計額	20,443	19,782
その他の包括利益累計額合計	157,596	118,931
純資産合計	12,802,957	13,110,714
負債純資産合計	16,069,569	16,387,640

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)
売上高	22,336,752	21,883,431
売上原価	13,350,020	13,079,557
売上総利益	8,986,732	8,803,874
販売費及び一般管理費	8,125,042	8,148,576
営業利益	861,689	655,298
営業外収益		
受取利息	750	731
受取配当金	1,599	1,646
持分法による投資利益	—	74,558
家賃収入	16,602	7,613
協賛金収入	28,434	24,581
受取手数料	6,340	715
その他	17,764	19,602
営業外収益合計	71,492	129,450
営業外費用		
支払利息	33	61
不動産賃貸原価	5,980	240
持分法による投資損失	18,068	—
その他	228	405
営業外費用合計	24,311	708
経常利益	908,870	784,040
特別利益		
有形固定資産売却益	3,598	—
受取補償金	—	31,200
受取保険金	—	2,900
補助金収入	13,145	—
店舗売却益	6,742	—
特別利益合計	23,486	34,100
特別損失		
有形固定資産除却損	14,513	11,123
減損損失	54,846	11,615
店舗閉鎖損失	9,283	4,977
固定資産圧縮損	9,048	—
特別損失合計	87,691	27,716
税金等調整前四半期純利益	844,665	790,424
法人税、住民税及び事業税	348,438	298,004
法人税等調整額	△13,583	△16,031
法人税等合計	334,855	281,972
四半期純利益	509,810	508,451
親会社株主に帰属する四半期純利益	509,810	508,451

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)
四半期純利益	509,810	508,451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,756	12,408
退職給付に係る調整額	△2,027	△985
持分法適用会社に対する持分相当額	10,223	△50,088
その他の包括利益合計	35,953	△38,665
四半期包括利益	545,763	469,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	545,763	469,786

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年2月1日 至2018年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,255,854	6,080,898	22,336,752	—	22,336,752
セグメント間の内部売上高又は 振替高	29,442	40,204	69,646	△69,646	—
計	16,285,296	6,121,102	22,406,398	△69,646	22,336,752
セグメント利益	816,831	258,493	1,075,325	△213,635	861,689

(注) 1. セグメント利益の調整額△213,635千円は、セグメント間取引消去△25,392千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△188,243千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備等の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」49,978千円、「外食業」4,867千円です。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年2月1日 至2019年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,673,425	6,210,006	21,883,431	—	21,883,431
セグメント間の内部売上高又は 振替高	43,242	37,054	80,296	△80,296	—
計	15,716,667	6,247,060	21,963,727	△80,296	21,883,431
セグメント利益	628,644	248,604	877,248	△221,950	655,298

(注) 1. セグメント利益の調整額△221,950千円は、セグメント間取引消去△39,192千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△182,758千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備等の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」8,250千円、「外食業」3,365千円です。